

# 信州うえだ東京の集い

協賛 上田観光コンベンション協会 別所温泉観光協会 苫平高原観光協会 鹿教湯温泉観光協会 武石観光協会

10月4日(金)  
157人が集う

「信州うえだ東京の集い」は10月4日(金)午後5時から浅草ビューホテル4階宴会場で開催され、来賓、会員、ゲストなど157人が参加した。第1部はシニア生活プランナーの野上佳子さんが「ピンピンキラリで健康長寿を～100歳があたりまえの時代を迎えて～」と題して



土屋上田市長 などムード曲を披露した。そのあと太神楽の鏡味

仙成さんが傘芸などを演じた。

司会は宮下希佐己副会長と坂田和夫理事が行い、最初に実行委員長の高橋清子副会長が開会の挨拶。第2部は松倉久幸顧問の歓迎の言葉の後、山崎会長は「本日は上田を盛り立てている信州上田観光大使5人の方に来ていただいた。最後までお楽しみください」と挨拶。土屋陽一市長は「皆様方と心がつながるのは大事なことで、上田発展につながる。梶原ワイナリーがオープンした。故郷に帰られたらぜひ訪れてほしい」と報告。金子義幸商工会議所専務理事は「柳沢会頭はラグビー、イタリア・南アフリカ戦の応援に日帰りで行っている。9月にサントミューゼで壮行会を開き伊選手にエールを送った」。眞島実JA信州うえだ組合長は「役員改選で坂下前組合長から引き継いだ。農産物は春先の低温、半ばは長雨などあったが回復し順調に生育した。農家の努力で実りの秋を迎えた」と報告した。

昨年に引き続き出席された服部征

## ふるさと上田への愛 令和2年のごあいさつ

会長 山崎斎明

明けましておめでとうございます。令和2年目を迎え心よりお慶び申し上げます。

昨年の出来事の中で、私は天皇陛下の諸行事がつがなく厳かに行われ新時代が幕開けたことをうれしく感じました。また、日本で「ラグビーW杯」が開催され熱戦に興奮したことが印象に残ります。日本チームが「ワンチーム」を合言葉にベスト8入りし、多くの市民を湧き立たせてくれました。

一方、昨年も台風豪雨による災害に見舞われました。上田では台風19号が来襲して、大河千曲川をはじめ中小河川が氾濫、道路や橋の破損、別所線の赤い鉄橋の一部崩落、田畠や農産物など多大な被害が発生しました。

当会はすぐに「会報号外」を発

行し、ふるさと納税と独自の支援金を皆様にお願いしました。すると続々とふるさとへの愛の募金が事務局に届けられ、12月初めまでに183万円にのぼり、土屋上田市長に募金を渡すことができました。

今や温暖化現象によって世界各地で自然災害が拡大、日本でも予想外の地域で被害が発生しています。長野県は昨年、日本初の「気候非常事

夫台東区長の挨拶のあと小林隆利市議会議長の乾杯で懇談に移った。

野上さんの講演要旨。年を取ると名前が出てこない、何をしようとしたか思い出せないなどあるが、40-50歳あたりから徐々に脳の衰えが始まるので自然のこと。朝何を食べたか思い出せないのはもの忘れで、認知症は食べたことを忘れてしまう。アルツハイマー症を直すことはできないが改善、遅らせるることはでき



眞島JA組合長

くる。早期発見が大切。朝起きたら思い切り歯を出して笑ってほしい。耳や目を使い、メリハリのある生活を送り積極的に動く。

今回出席された信州上田観光大使は松倉久幸さんをはじめ、眞田徹さん、坂口光治さん、三遊亭鬼丸さん、月影瞳さんでした。

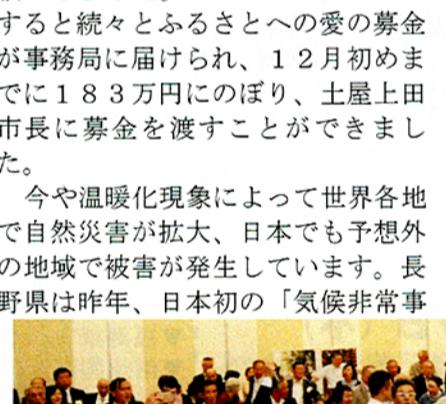
最後に中澤公子さんの指揮で信濃の国とふるさと合唱してお開きとなった。

「ふるさと上田への愛」を発表しました。私たち一人ひとりが環境問題を認識し理解することが最重要です。

さて、東京上田会は今年も皆様のお力添えで様々な活動に取り組むことができました。諸活動に参加、出席された皆様に深く感謝します。

本年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。外国の方を迎えるだけでなく障害のある方への配慮が高まりつつあり、心が温まってきます。オリンピックを機に、活躍する選手への応援だけでなく敗者や困っている方々への気配りの心を大切にしたいものです。

皆さん、「アイ・ラブ・ウエダ」を合言葉に今年もふるさと上田と連帯し、活動してまいりましょう。



手をつなぎ合唱する参加者



信州上田観光大使の皆様  
左から坂口さん、眞田さん、月影さん、松倉さん、鬼丸さん



故郷の地酒



高橋実行委員長(左)と岡たつやさん



鏡味仙成さん



野上さん



信濃の国とふるさと合唱